

経済情報ピックアップ

IMF「世界経済見通し(2025年4月)」の結果について

4月22日、国際通貨基金(IMF)は最新の世界経済見通しを公表しました。

今回の見通しでは、IMFがシナリオを決定する3月下旬以降に米トランプ政権による関税政策が発表されたことで、複数のシナリオに基づいて見通しを作成する異例の措置をとっています。

一つ目のシナリオは、従来どおり3月下旬時点での情報をもとにした予測。二つ目は、ベースラインのシナリオにあたる、4月4日時点で得られた情報をもとにした予測で、その直前にトランプ大統領が公表した相互関税(一律10%の関税+各国・地域ごとに上乗せ関税)と自動車への関税を反映しています。三つ目のシナリオは、その後の相互関税の上乗せの90日間の停止措置や米中間の報復関税などを反映した予測となっています。

いずれのシナリオについても、こうした高関税政策の影響によってほとんどの国・地域で見通しが1月時点から下方修正されています。

以下、ベースラインシナリオについてみていくと、世界経済成長率は、2025年は+2.8%と前回1月時点の見通しから▲0.5ポイントの下方修正、26年は+3.0%と▲0.3ポイントの下方修正となっています。

主要国・地域別にみると、米中の貿易戦争の激化が両国にとって損失につながることから、米国は25年(2.7%→1.8%)、26年(2.1%→1.7%)、中国は25年(4.6%→4.0%)、26年(4.5%→4.0%)いずれも下方修正されています。

また、カナダ、メキシコは、米国との輸出入のウエイトが大きいと、大幅な下方修正となっています。

ユーロ圏は、関税率が相対的に低いことに加え、ドイツを中心に財政拡張が経済を下支えすることから、25年(1.0%→0.8%)、26年(1.4%→1.2%)ともに▲0.2ポイントの下方修正に止まっています。

日本は、自動車(部品を含む)、鉄鋼・アルミニウム製品への25%の関税による輸出の減少が成長率の抑制につながることから、25年(1.1%→0.6%)、26年(0.8%→0.6%)ともに下方修正されています。

IMFの見通し発表から本稿執筆時点(5月14日時点)にかけても、トランプ政権の関税政策は二転三転しています。日本政府と米国政府は関税交渉を開始しましたが、本稿執筆時点では合意に至っていません。

2025年の米国の平均輸入関税率は約100年振りの水準まで上昇すると推計されています。第二次世界大戦以降、世界では自由貿易体制が整備され、貿易の拡大と世界経済の発展が実現しました。しかし、今回の米国の保護主義への転換による関税措置によって、自由貿易体制は大きな課題に直面しています。

関税政策によって不確実性が高まれば、関税による世界貿易の減少に加え、企業の設備投資抑制、金融市場の不安定化、金融環境の引き締めなどの複合的な要因によって世界経済成長率がさらに下振れする恐れがあります。

(上席研究員 山田 浩司)

世界経済見通し(実質GDP、2025年4月時点)

				%, %ポイント			
国・地域	2024年	2025年	2026年	国・地域	2024年	2025年	2026年
世界	3.3	2.8 (▲0.5)	3.0 (▲0.3)	新興、途上国・地域	4.3	3.7 (▲0.5)	3.9 (▲0.4)
先進国・地域	1.8	1.4 (▲0.5)	1.5 (▲0.3)	ロシア	4.1	1.5 (+0.1)	0.9 (▲0.3)
米国	2.8	1.8 (▲0.9)	1.7 (▲0.4)	中国	5.0	4.0 (▲0.6)	4.0 (▲0.5)
ユーロ圏	0.9	0.8 (▲0.2)	1.2 (▲0.2)	インド	6.5	6.2 (▲0.3)	6.3 (▲0.2)
ドイツ	▲0.2	0.0 (▲0.3)	0.9 (▲0.2)	ASEAN 5	4.6	4.0 (▲0.6)	3.9 (▲0.6)
フランス	1.1	0.6 (▲0.2)	1.0 (▲0.1)	ブラジル	3.4	2.0 (▲0.2)	2.0 (▲0.2)
イタリア	0.7	0.4 (▲0.3)	0.8 (▲0.1)	メキシコ	1.5	▲0.3 (▲1.7)	1.4 (▲0.6)
スペイン	3.2	2.5 (+0.2)	1.8 (±0.0)	サウジアラビア	1.3	3.0 (▲0.3)	3.7 (▲0.4)
英国	1.1	1.1 (▲0.5)	1.4 (▲0.1)	南アフリカ	0.6	1.0 (▲0.5)	1.3 (▲0.3)
日本	0.1	0.6 (▲0.5)	0.6 (▲0.2)	ナイジェリア	3.4	3.0 (▲0.2)	2.7 (▲0.3)
カナダ	1.5	1.4 (▲0.6)	1.6 (▲0.4)				

注1: 表の成長率は、4月4日までに得られた情報に基づく「参照予測」。

注2: () 内は2025年1月見通しからの変化。

注3: ASEAN5は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ。

出所: IMF「World Economic Outlook」(2025年4月)